



城山より母校を望む

世羅高 同窓会会報

発行
広島県立世羅高等学校
同窓会会報編集委員会
世羅郡世羅町本郷870番地



第11号発刊に寄せて



同窓会長 小島 敏文
(昭44高卒)

同窓会会員並びに地域の皆様方には、本会の運営に格別のご理解ご支援を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

本校も創立百三十三年目の歴史を一步一步刻み、着実に前進を続けている事を慶ばしく思っています。戸野法史校長先生のご指導の下、「二十一世紀の地域及び日本を切り拓く人材の育成」を目標に、積極的に公開研究授業等を開催され生徒が自ら学び考える力を育てる授業の創造と、教職員の指導力の向上に尽力頂いており、本年は京都大学・九州大学等へ現役合格者が出るなど、「文武不岐」の型が見えてきております。

さて、同窓会会報も昨年で発刊第十号を迎え、この間、世羅高校の実状を皆様方に御報告して参りました。

平成十一年二月二十八日、故石川敏浩校長先生の不幸な事件を機に、広島県教育の混乱が世に知らされ、本校はその混乱のまっただ中にあり、全国各地の同窓会会員の皆様、地域の皆様から世羅高はどうなっているのかとの質問が多数寄せられました。

そうした時、世羅高の実状を広く情報提供する為に、同窓会会報を発行することになりました。

今本校は十年前とは比べものにならない位立派な学校となりました。十年をひと区切りとして休刊するか刊行を続けるか、続けるに致しましても、会報を全同窓生に行き渡らせるにはどの様な方法があるか、皆様のご意見を賜わりたいと考えております。

人間の進歩とは限らないものだとつくづく感じます。去る十一月一日に開催された全国高校駅伝県予選において、男子が二時間四十分十四秒の驚異的な記録を出し優勝しました。あの高低差百メートル以上の難コース。しかも雨の中。きつと京都においては、県大会の記録を大幅に短縮し、全国制覇を成し遂げてくれるものと大いに期待しております。女子も昨年の試練を乗り越え、見事優勝してくれました。

今から十年前、駅伝の名門世羅高校も、低迷を続けていた頃、全国大会の折、NHK解説者から「古豪世羅高校」と言われ、何とも違和感をおぼえたものです。時

の田邊康嗣校長先生と一計を案じ、ケニア共和国駐日大使館に赴き、世羅町及び世羅高校とケニア共和国との国際交流を申し入れ、今日に至っております。

ケニアから優秀な生徒を招いた事で、日本の選手が良い意味での刺激を受け、県大会に於いて男女揃っての優勝につながり、結果として教育的効果があったと考えています。ケニア人留学生の日本滞在費用を国際交流推進協議会を結成しサポートしておりますが、最近では会員の減少が目立ち、このまま行きますと、運営が難しくなり、留学生の受け入れを中止しなければならなくなる事が予想され、苦慮しているのが現状であります。今後も留学生の受け入れや台湾大同高級中学校との交流を継続し、国際交流を支援して参りたいと考えております。

率直に現状をご報告申し上げ、同窓会の皆様をはじめ地域の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。第十一号の発刊にあたってのご挨拶と致します。

不易と変革



校長 戸野 法史

同窓会会員の皆様には、益々ご

清菜のこととお喜び申し上げます。本校は、「文武不岐」をスローガンに勉学と部活動とを一体として取り組む生徒の育成を図っており、早朝・放課後補習や朝練習、また、休日の部活動や資格試験・模擬試験にたくさんの方が積極的に取り組んでいます。

部活動では、京都での全国高等学校駅伝競走大会に男子・女子揃って広島県の代表として出場することになりました。駅伝の世羅という伝統を守り、さらに競技で勝ち続けるために選手・監督が精進を重ね、今年も全国でトップの実力を維持しています。京都での全国高校駅伝競走大会での活躍が、同窓生の皆様と世羅高校とを繋ぐ大きな力となっていることはいくらでもありません。今年も、我々の願いを一つにした濃厚な二日間となることを確信しています。その他の運動部では、硬式野球部が2年連続三回戦を突破し、七つの部で百二十五名の生徒が地区予選を勝ち抜いて広島県大会に出場しました。文化部では、吹奏楽部が小編成部門の銀賞を受賞し、生徒会執行部も文化祭・体育祭を主体として運営しています。

勉学の面では、国公立大学二十名、四年制大学百十九名の合格者をはじめとして、短大・専門学校へ四十八名、就職二十九名という実績が示すように、ほぼ全員が希望進路の実現という目標を達成することができました。

さらに、生活福祉科では高度な資格取得に向けた特色ある取り組みを推進し、家庭科技術検定三冠王五名、介護福祉士国家試験合格五名という県内有数の実績を示しました。

今年の大きな変革の一つは、来年度から生産情報科と環境科学科の生徒募集を停止し、新たに農業経営科を設置することです。十年後の世羅町の主要産業は農業を核とした六次産業になることを想定し、農産物の加工・販売への取組や起業家精神を育成することを目標とする、新たな学科への改編を決断しました。二つ目は、ニユーヨークにあるソントン・ドノヴァン・スクールとの姉妹校縁組みの年度内調印が同窓会会員皆様のご支援によってほぼ確定し、国際交流の推進という目標が実現できたことです。

本校は、普通科・農業経営科(生産情報科・環境科学科)・生活福祉科の三学科を擁する総合高校としての特色を活かし、世羅台地の最高学府として地域の期待に応えてまいります。同窓会会員の皆様、本校に対する熱い思いを大切に学校の経営を進めますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、世羅高校同窓会のみますの発展を祈念し挨拶とします。

恩師寄稿

偶感



周才 千明

現在、私は生まれ故郷で生業好きた農業に従事しています。とは言え、傘寿を過ぎては、体力、なかでも記憶力の減退は目に余るものがあり、自嘲的事態が続いています。ですから農事を手伝っているつもりでも、却って邪魔者扱いにされかねない状態なのです。でも、夕方の散歩などを通して感じられる自然の鼓動というか、四季折々のリズムミカルな推移は、何物にも換えがたい癒しとなっています。

今は若い時のような、世の中の多くの事象を自分に対峙するものとして受けとめ、何とか解決を求めようという思いは薄らぎ「まあいいや、結果はそれ程違うものではないんだよ」と自分に言い聞かせることが出来るようになってきました。一体、人はだれでも一生に一度や二度、いろんな時、場面で自分が生きるベースになる此処ぞという決定的な状況の中に置

かれ、判断をせまられることがあると思います。思えば私の場合、広島での学生時代に被爆し、この世の生き地獄を体験したのは、正にそんな場面でした。子どもの頃見たあの宗教絵図から受けた、とつもない恐怖どころの比ではない、言葉ではとても表現し切れない麻痺された非日常的感覺の中の生活が続いたのです。訳のわからぬままに、瀕死の被爆者介助に夢中で対応する日が二週間余も続いたのです。当時、広島市街では七、八十年間は生物が棲息できないだろうと言われていたのに、六十四年にして現在の状態にまで復興を果たしたのです。本当に驚きです。が同時に、またあの却火の犠牲になり、放射能禍のため現在もお、日々死の恐怖に翻弄されている多くの人がいるのも事実なのです。

爾後、反核秩序の構築が叫ばれて久しいのですが、遅々として進まないで風化の一途を辿っているかのように思われる実態は、何を意味しているのでしょうか。不安でなりません。何年前か、私はムンクの「叫び」の絵を見て衝撃を受けました。然し彼がだれに向かって、何を叫んでいるのか真の程は理解できません。只、私なりに彼は時代に対し、更には彼自身に対して自己の存在を強烈にアピールすることにより、生への不満をぶちまけているように思われ、その迫力にうたれたのです。それ

感性が光るアートな写真
残しておきたい思い出の写真

ホームページで多くのお友だちの笑顔に出逢えます。ぜひ
広島県高校駅伝、中国高校駅伝、速報写真掲載中!!

アート写真光房 **阿部写真館** 世羅町本郷
TEL:0847-22-0213

<http://www.cameraman-abe.com/>
Eメール: info@cameraman-abe.com

TOCHU GROUP スズキ専門店

スズキオートSHOP

TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場
トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場

アラタニオート(株)

TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

はまた被爆後に亡くなられた峠三吉氏の「人間をかえせ！」の悲痛な叫びと同義と私には受けとめられ、人間が人間を焼きつくす原爆の業炎に対する憤怒そのものであったのではないかと思います。いわば人間が機械の一部に、更に銭の奴隷にと、元来、有機質的存在であった筈の人間が、無機質的傾向に変容することに対する警鐘なのでしょうか。一体、科学の進展は、人間が自然に対する畏敬の念を深めこそすれ、人間の傲慢さ、尊大さを誇示するものではなかった筈だと思のですが。やはり加齢のしからしめる妄想なのでしようか、不安は募るばかりです。とはいえ、私は人間が好きなのです。

(三原市久井町在住)

(先生は、昭和二十八年四月から同五十六年三月まで国語教師としてまた、担任として、その熱血あふれる指導で多くの生徒を育てられ、昭和五十八年四月から同六十二年の間は教頭として勤務されました。)

世羅高校の思い出

溝西 護

昭和三十年四月に、世羅高校の正門をくぐってから、四十五年間半世紀に近い教員生活を、送らせて頂いた。この間の基礎はすべて世羅高校で教えて頂いたと思っ

ている。

先ず教員としての喜びである。

生物の教師として、夏休みに道後山での植物の観察会に、生物班の生徒と行った。その時、スライド写真を撮って帰った。しかし、もう少し撮り足して、皆さんに見せてやったら、と思うようになった。そこで、一人でカメラを持って、道後山の家に一泊して、スライド写真を撮って帰った。これを「道後山の植物相」というタイトルで文化祭の時、講堂で投影して皆さんに観て頂いた。

終わつた後、カラースライドで映像が奇麗であつたため、皆さんが拍手してくれたのを、忘れることは出来なかつた。これ以後、何としても生徒の皆さんに喜んでもらえる教材を作ろうと、これに没頭するようになった。

そのために、いろんな方々にご指導と支援を頂いたことを、決して忘れてはいない。さつきのスライド投影に際しても、当時、浦野先生にスライドを合わせての音声の録音について、大変なご指導を頂いたことは、忘れることは出来ない。つまり、仕事が出来たとしても、一人では出来るものではない、ということである。

そして、世話になつた方へ感謝の気持ちを忘れないで持ち続けることの大切さに気づき、その後の生き方が変わつて来た。

そんな気持ちで、四十数年頑張つた結果、平成十三年、叙勲の栄

に浴した。

次に忘れることが出来ないのは、クラブの指導である。世羅という田舎の高校の野球チームが、ベストエイトに残つた時である。保護者・先輩が、手に手に美味しいものを持って来てくれた。日頃から、粗食に馴れていた生徒諸君は、大いに喜び、ついつい飲み過ぎ、食べ過ぎて、翌日の試合結果に出てしまった。その時、おながが健康であつたのは、ピッチャーの池田君だけであつたのを覚えてる。

残念であつたが、私自身経験が浅かつたためと、深く反省している。「勝つて兜の緒を締めよ！」とは、こういうことかと、失敗経験をしたことで、分かつたのである。

最後に、皆さんに告白したいのは、生物教室でのロマンスです。同じ生物の教師だつた小寺道枝との出会いです。互いに人生の良き伴侶として苦楽をともにすることになりました。

しかし、残念なことに、平成十五年二月二十四日に、妻は臍臓がんで亡くなりました。今で思えばもう少し長く生きて欲しかったことです。教職を早く辞め、私の両親の面倒を見てくれ、それに私自身の世話までしてくれたことを深く感謝しています。写真は平成十三年叙勲授章記念日に撮つたものです。(この写真が最後のツーショットとなりました。)

ここまで尽きぬ思い出を綴りましたが、世羅高校には、足を向けて寝ることが出来ないほどの思いが一杯です。紙面の許しがあれば、河内先生を初め、他の先生、生徒の事を書きたいのですが、またの機会にしたいと思います。

(東広島市在住)

(先生は、昭和三十年四月から、同三十八年三月まで生物担当教師として勤務され、同時に生活指導・クラブ活動を通じて熱心に生徒を指導されました。)



出光興産株式会社販売店
芸備燃料株式会社
 代表取締役 坂 東 辰 男

本社
 〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL0847-22-2121
 世羅バイパスSS
 〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL0847-22-1151
 世羅配送センター
 〒722-1111 世羅郡世羅町寺町1871-1 TEL0847-22-1136

nanaco
 ポイントカード好評発売中

セブン-イレブン
 世羅郡世羅町本郷653-2
広島世羅町店 配達もOK
 電話25-5151

会員募集中

同窓生より

故岡河(政成)孝治君を 偲ぶ



曾根 秀夫
(昭27高卒)

昭和二十五年十二月二十七日午後一時、第一回全国高校駅伝競走大会が、大阪毎日新聞社前く石津川往復(三十二キロメートル)で始まった。この時の参加校四十五校(山梨県は、準備不足のため、不参加。沖縄県は、米国統治下に
あるため、不参加)。

この時のメンバー、一区国藤さん、二区荒谷さん、三区鍛冶谷、四区曾根、五区谷敷、六区岡河。タイム一時間四十六分五十七秒で全国制覇。第二回大会、昭和二十六年十二月二十六日、メンバー、一区曾根、二区田中、三区鍛冶谷、四区谷敷、五区土居、六区岡河で、連続制覇をなしとげる。この年、岡河、谷敷の健闘により、全国インターハイ・トラック部門優勝。
(詳しくは、新畑茂充先生の「世羅高校駅伝史」にあります。)

私は、高校二年の時、同クラスの岡河に誘われて、陸上を始めましたが、なかなか結果が出ず、久井から学校まで走って通いました。秋にやっと走れるようになり、以来、陸上が好きになり、現在も続けています。すべて岡河のお陰です。

第二回大会優勝メンバーで、同級生たちは、小生一人を残して黄泉へ行ってしまいました。(近畿同窓会の鍛冶谷順君も、今年の春故人となりました。)

本当に残念です。彼の国で、チームを作り、走り続けていることでしよう。(決して、私を呼び寄せないで欲しい。また、やることはいっぱいあるから。)

特に、岡河君とは、上京後も一緒に生活し、青春を満喫したことが思い出されます。家族ぐるみでの付き合いだったので、訃報を聞いたときは、本当にびっくりしました。



第2回全国高校駅伝大会の優勝メンバー
左より(前列)鍛冶谷、田中、曾根
(後列)谷敷、岡河、土居、今石の
各選手(内海富貴郎氏提供)

た。三日前に、電話で話したばかりだったので。通夜と葬儀、納骨と、特に通夜と葬儀には東京校友会の人達が手伝ってくれ、本当に有り難く、感謝しています。思い出の品を彼の国へ一緒に持って行ってもらい、時々、思い出してくれるように願いました。

一週間は、「ボー」としていましたが、やっと、自分を取り戻しました。畏友岡河君、鍛冶谷君を初め同級生諸氏の早すぎる死を悼み、哀悼の誠を捧げます。
「学而不思即罔 思而不学即罔」
(東京在住)

世羅への思い



中村 須賀子(旧姓 森)
(昭29高卒)

私は、旧大見村の出身です。昭和二十六年に普通科に入学、二十九年に卒業しました。戦後間もないとは言え、さほど不自由も感じないまま、冬季積雪の間を除き、三年間を自転車通学致しました。昼ヶ草(ひるがそう)という峠を越えて、道路も旧道ですから、砂利を敷きつめてあり、運転に多少の技術も要し、時には滑って転んだ事もありました。それでも、お

陰様で三年間皆勤賞を戴いた事は私の自慢の一つです。在校時の思い出は、何と言っても駅伝全国制覇に湧いていた事。岡河、鍛冶谷選手が同郷の出身で、それが自慢でした。個人的には生徒会の役員活動内容は覚えていませんが、松本会長の下、顧問の先生方と共に、二宮尊徳像の前で撮った記念の写真は時折、懐かしく眺めています。弁論大会出場、クラブはペン習字同好会に所属、その他放送部員として舞台上に上った事もあります。又古代ローマ史劇で先輩と英語劇にも端役で出演しました。白いシャツを身に纏い台詞も殆ど無いのに、何か楽しかった事を覚えていますが、今もって世羅という二文字に熱い思いがあります。「世羅高出身です。」と言えば、「駅伝の高校ですね。」と全国の殆どの人から言葉が返って来ます。勿論十二月になると、京都の都大路を走る34番のゼッケンを必死で(テレビ上ですが)応援せずにはおられません。成績の順位に拘わらず、同窓会呉支部会の節には、出席者全員で話題の中心にもなります。嘗て五輪陸上選手の村社講平氏が講演に来校された時、「この世羅高校の周囲を歩いて見たが、こんな土地柄、通学条件に育った君達だから、全国制覇も出来るわけだと納得した。」と話され、私は陸上選手でも何でもないのに、まるで自分が褒められた様に感動を

新車/中古車販売・車検・修理
東京海上日動代理店

有限会社 **近藤プランニング**

〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷635-1
TEL0847-25-0303

地域とともに大きなふれあい

株式会社 山平組

代表取締役 山平 正 登

世羅町別迫711 ☎(0847)24-0111代 [本社]
☎(0847)24-0226代 [工場]

覚え、それが、今に至る迄、健康の源、健康への自信に繋がっている事に間違いはありません。呉市に嫁いで五十三年が経ちました。平成六年から十六年余、地区民生児童委員を委嘱されて、来年の定年迄を、務めさせて貰っています。当呉市でも百歳以上の人が、二百人を超え、高齢化は紛れもありません。俳句、篆刻など、趣味の宿題に追われる毎日ですが、百歳まで、元気に長生きを目標に、健康に留意して過ごして参りたいと希っております。

ふるさと世羅は、駅伝の世羅高のみならず、花とフルーツの観光農園、地元ワイン作り等々、益々、世羅の名声は高まりつつあり、喜ばしい限りです。応援団の一人として、世羅を愛し、エールを贈り続けて参りましょう。

高校時代の思い出



塚本 卓也
(昭37高卒)

私の郷里は、旧甲山町川尻です。近くに三川ダムがあるところです。世羅高等学校までは、バスでは乗り換え等を含めて約1時間、自

転車では約40分必要とします。私は、三年間のほとんどを自転車通学しました。

さて、高校生活を振り返ってみることにします。高校生活(昭和三十四年普通科入学・昭和三十七年卒業)は、どちらかという目立たない生徒であつたように思います。

クラブ活動においては、卓球部に所属していましたが、ほとんど活動はしていませんでした。

授業においては、得意な科目は日本史でしたが、物理や数学は苦手であるが化学は好きであるとか、国語は苦手であるが漢文は好きであるとか、どこかつかみどころのない生徒でした

高校で受けた授業で、その時に教えていただいたことを、現在に至るまでに、座右の銘にしている諺があります。教えていただいた科目は漢文で、担任はS先生であつたと記憶していますが、「塞翁が馬」(「人間万事塞翁が馬」の略)という諺です。その意味は、その近くの翁(老人)の馬が逃げたが、名馬を連れて戻ってきた、翁の子が落馬してけがをしたが、兵役を免れた。このように一時の幸、不幸は変転するといふ中国の故事です。先生は、その意味に加えて、「人生は良いことも悪いこともあるのだから、とにかく粘り強く頑張りなさい。」という趣旨のことを言われたのではないかと思えます。その言葉は、なぜかし

ら、日頃、自信のなさそうな私の方を向かつて言つて下さっているように思えたものでした。

もう一つの思い出。土曜日の午後は、高校の近くにあつた映画館へ映画を見に通いました。その頃は、映画が全盛の時代で、石原裕次郎や小林旭が全盛の時代でありました。私は、特に、小林旭出演の映画が好きでした。確か、「ギターを抱いた渡り鳥」シリーズであつたと思いますが、工事現場で争いごと等が起こると、小林旭扮する青年がどこからともなく登場して争いごとを解決するのです。解決後にはすぐに立ち去るのです。何しろ格好が良いのです。

高校卒業後は、「どんなことがあつても頑張りなさい。」との思いを胸に、大阪で生活することとなりました。某大学の事務職員として勤務し、定年退職をするまで勤めました。

その後は、仲間と一緒に自然環境保全に関わる活動や世羅高等学校近畿同窓会のスタッフ等の活動をしています。

今まで、良いこともあり悪いこともありました。これからも、「塞翁が馬」の諺を思い出しながら過ごして行きたいと思つています。

(大阪府吹田市在住)

実りの秋



門田 孝
(昭53高卒)

私が世羅高校へ在学した一九七五年から七八年という年は、日本の高度経済成長が一段落し安定成長へと向かう頃で、田中角栄内閣後の三木武夫・福田赳夫内閣の時期にあたり、セ・リーグ初優勝を果たした広島カープが黄金時代を築き、また、ピンクレディーがデビューして大ヒットを重ねていた頃でした。人々の生活はそれなりに豊かになっていきましたが、コンピ二やパソコンはまだなく、日々の生活の流れは今よりもゆったりとしており、また、いまだ将来に向けて大きな自信と希望ももてる時代でした。

自分の高校生活も、やはりそうした時代の空気と無縁ではなかつたと思います。実は、在学中に勉強だけにあまりがむしゃらに打ち込んだという記憶はなく、むしろ様々な行事やクラブ活動などでの経験の方が鮮明にのみがえつてきます。私自身にとっては、一つのことには打ち込むというよりも、勉

健康で住み心地の良いお部屋造
家屋を守る白蟻消毒

株式会社 **もみの木** 畳店

世羅郡世羅町 TEL (0847) 22-1426(代)
FAX (0847) 22-1893

郷土の発展に貢献する

井上建設株式会社

一般土木・ほ場整備・舗装・水道・建築・リフォーム

代表取締役 井上 力

三原市久井町江木1471 TEL0847-32-7125
FAX0847-32-8366

学以外の事も含めた様々な事柄に興味を覚え、自分の可能性を求めて試行錯誤を重ねる日々でした。当時私のいた普通科は3クラスあり、1年次には数学の加藤浩史先生、2、3年次には社会科の丹田雄蔵先生に担任を受け持っていた頂きました(校長は酒井文郎先生でした)。少子化が叫ばれる現在と比べると、大学自体は確かに「狭き門」の時代であり、それにもかかわらずのんびりとした私の態度は、あるいは指導して下さる先生方をやきもきさせたのではないかと反省しています。

世羅高卒業後は、理数系から文科系に進路変更したこともあって1年間浪人し、大学は神戸、初めての就職先は福岡と西日本を渡り歩いた後に(ちなみに駅伝で鳴らした世羅高の名前はどこでもよく知られていました)、二〇〇三年に縁あって再び広島の地にもどって来る事ができました。現在は、三原市(当時は御調郡)久井町の生家に住みながらも、広島大学で法学とくに憲法学を教える仕事に従事しています。交通・通信網が整備され、高速道路やインターネットが発達した現在にあつては、広島市や東広島市での業務にもさほど支障は感じておりません。それよりも、あれから三〇年以上の時を経て日本社会が大きく変貌をとげた今の時代にあつても、当時と変わらずゆつたりと豊かな自然を育む世羅台地の姿に心洗われる

思いが強いのです。そして、そうした世羅の地にある高校で、ゆつたりとした時の流れの中で、お世話になった先生方をはじめ多くの方々のご厚意を支えられてここまで来られたことを実感しています。

この原稿を書いている今、紅葉にそまつた晩秋の世羅台地に自分の人生を重ねつつも、いつそう実りのある生き方を求めて、なお試行錯誤を重ねる毎日です。

(久井町在住)

『世羅高等学校剣道部
卒業生会』の紹介

林 光輝
(平成2年高卒)

「剣道」は「相撲道」や「柔道」となれば、日本の伝統的国技(武道)の一つであるといわれています。

かつては、戦場で刀剣をもって相手と戦った技術が、時代や社会の移り変わりとともに、次第に戦いとしての性格を失い、スポーツ・修養・護身などの目的で行なわれるようになったものです。

よく「殺人剣」から「活人剣」へと変貌を遂げた武道といわれます。

旧制世羅中学校の時代には、正課として「柔道」・「剣道」が教えられていました。

第二次世界大戦後の一九四五年(昭和20年)11月6日、連合国軍最高司令部が学校における剣道の

授業を禁止しました。いわゆるG HQによる武道禁止政策がとられた結果、一時期剣道はその活動の停滞を余儀なくされました。

一九五二年(昭和27年)10月14日、占領終了により剣道禁令の解除となり、「全日本剣道連盟」が結成され、続いて、一九五三年(昭和28年)5月19日、文部省は、社会体育における剣道の制限を解除しました。

その後、世羅高校においても剣道が部活として認められ、現在に至っています。

現在の部員数は、18名(平成21年6月現在)。

顧問の谷口憲史先生の指導の下、厳しい稽古に日々励んでいます。

現役部の支援団体として、一九九二年(平成4年)から活動しているのが、「世羅高等学校剣道部卒業生会(OB会)」です。

主な活動内容としては、益・正月恒例の「卒業生会稽古会」の開催、金銭的な援助と大会随行審判員そして試合・段位審査時の交通手段などの援助を行なっています。

今年度の活動として、二〇〇九年(平成21年)8月15日(土)、世羅高等学校格技場(武道場)において定例稽古会を開催し、この日、約7年越しの計画で寄付金を募ってきた、試合用のそろいの胴7着(男子用・21万円相当)を、剣道部卒業生会会長の峠越博史から贈呈をいたしました。

贈呈にあたり、峠越会長から「卒

業生会としてできる支援のひとつです。これからもチーム一丸となつて精進して下さい」と述べ、現役生の宗廣秀治主将(2年)が代表で受け取りました。

宗廣主将は贈呈を受けて、「OB(先輩)の方たちの期待に応えるべく、頑張つて行きたいです」と、今後の意欲を述べてくれました。

今後は、これまでの支援体制を維持し、さらにもう1チーム分(女子用)の7着の胴の贈呈に向けて資金を募っていく予定(計画)です。

(筆者は世羅町教育委員会 生涯学習課勤務)



尾三地区大会での男女優勝記念撮影(2009年4月)

itc 警備保障事業部(広島県公安委員会第434号)
人材派遣事業部(般34-300074)

じつとく
株式会社 實徳コーポレーション

〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷39-7
TEL(0847)25-5271 FAX(0847)25-5272
(0847)22-0500

進物の玉浦
☎0847-22-1107
FAX.0847-22-1567

〒722-1121 世羅郡世羅町西上原612-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休

シヤテイ

学校だより

進路状況および取り組み

進路指導部

今年の卒業生(平成21年3月卒業)の最終的な進路先は、4年生大学76名、短期大学13名、専門学校31名、就職(公務員を含む)は30名でした。このように本校の卒業生の進路先は、多岐に渡っており、進路指導体制も多様できめ細やかな指導が求められています。大学全入時代といわれている昨今の状況ですが、安易に進路を決定せず、じっくりと自分の将来を見定めて、高い志(進路目標)をもち、その実現のために一生懸命努力する生徒を育成していきたいと考えています。進路先として特に注目されることは、最難関国立大学である京都大学・理学部や九州大学・理学部に現役合格者を出すことができたことです。このような成果が出たことは、本校の教育力でも十分な学習指導・進路指導ができるという証になったと自負しているところでもあります。進学を希望する生徒に対しては、習熟度別授業、放課後および休業中の補習授業、世羅塾、低学年対象のサテライト授業、各教科の添削指導、小論文・面接の個別指導などの具体的な取り組みとともに、進学意識を高めるために、進路別ガイダンス、進路講演会、大学出張講義、進路通信の発行などの取

り組みも行っています。就職指導については、就職ガイダンス、対策テスト、面接指導などを充実させたことと地元企業も含めて多数の求人をお願いしたことによって、就職を希望する多くの生徒がほぼ希望通りの就職を決定することができました。しかしながら、昨年度後半から続く不況により今年度の就職戦線は一変し、非常に厳しいと言わざるを得ませんが、これからも職業観・勤労観をしっかりと持った生徒を育てて行くために「キャリア教育」の視点に立った進路指導を充実させていきたいと考えております。「自主的・自律的な態度を養い、将来の世羅台地の人材を育成する」という目標の下、教職員一同、頑張りたいと考えておりますので、同窓会の皆様及び地域の皆様の今後ますますのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

広島県高等学校駅伝競走大会

降りしきる雨と気温18度の悪天候をものともせず、男子チームは全区で区間賞を獲得し、これまでの大会記録を大幅に上回る、2時間4分14秒の大会新記録で圧勝した。

レースは、1区で主将の北魁道が飛び出すと、上り坂が続く3区では、ピタン・カロキが区間新記録の快走、さらにチームの3本柱の一人竹内もタスキをつなぎ、2位に8分以上も差をつけゴールし

た。

女子チームは、1区3位でスタートし、2区以降は区間賞を独占した。レースは3区の木岡が如水館をかわしてトップに立ち、独走態勢に入った。アンカーのスーサンが2位以下に2分の差をつけてゴールテープを切った。総合力に優る勝利で昨年の雪辱を果たし、全国大会への出場権を得た。男子は、三年ぶり六回目の頂点を目指し、女子は初入賞を期して頑張ってもらいたいと思う。



スタート地点からトップで力走する主将の北選手



2位に大差をつけてゴールインするスーサン選手

地域だより

東京校友会

会長 十河 研一

(昭和36高卒)

昨年十一月の総会で、十六年の長きに亘って御指導いただいた秦会長が退任された。この間母校及び東京校友会の発展のために尽くされた多大なご功績に敬意を表する。皆様には今後とも前会長同様のご支援をお願いします。

総会后、十二月七日、明治神宮外苑において紅葉巡り。本年一月十七日、山手線の田端駅から上野駅に沿って配置されている谷中七福神巡り。二月一日、平成二十一年度第一回拡大役員会を開催して、役員役割分担、本年度活動方針及び年間計画等を決定。三月二十九日、横浜市を流れる大岡川に沿ったソメイヨシノのpromenadeを散策する観桜会。七月十三日、東京都議選直後、与党が惨敗し翌週には衆議院解散との報道が流れる緊迫した雰囲気の中で国会参観また、会報「とうきょう世羅」第二十八号を四月五日に、同第二十九号を十月四日にそれぞれ役員総会で会員その他へ郵送。十一月十五日、第三十一回総会・懇親会を、従来の虎ノ門から、恵比寿ガーデンプレイスに会場を移して開催。戸野校長、小島同窓会

スーパーマーケット
白谷屋

■本部 世羅郡世羅町大字西上原字鎌倉880番地5
TEL (0847)22-2828(代)
FAX (0847)22-2665

ピオ

甲山ショッピングモール
世羅町西上原
TEL(0847)22-3820

長をはじめ、東京庄原格致会、庄原実業高校東京支部、東京馬洗会(日彰館高校)等から来賓を招待。米国在住の村田重章氏(昭和38年卒)の講演を予定。

近畿同窓会

会長 松尾 千九三 (昭25高卒)

平成二十一年度の世羅高等学校近畿同窓会総会は、6月14日(日)大阪市北区の「大東洋」で、戸野法史校長・金尾則満副町長・竹廣関西同窓協議会事務局長をお迎えして開催(四十名参加)しました。会員に対して、日頃の温かいご支援・ご協力へ感謝の意、並びに平成二十一年三月にご逝去された元幹事長鍛冶谷順氏の活動に感謝の意を表した後、総会議事の審議を行い承認されました。

世羅高近畿同窓会の前年度(平成二十年度)の主な活動は次のとおりです。
関西同窓協議会の総会や役員会に参加(四月・十二月・二十一年二月)、世羅高等学校近畿同窓会運営のための役員会等開催(四月・九月・十二月)、広島県人会総会ふる里ふれあい祭りに参加(五月)、世羅高近畿同窓会総会開催(六月)、全国高校野球選手権大会へ出場の広陵高校の応援に参加(八月)、母校同窓会総会に参加(八月)、高校駅伝大会広島県予選会に出場の母校の応援に参加(十一月)、

母校より戸野校長・近藤教諭が来阪(十二月)、全国高校駅伝に出場の母校の応援に参加(十二月)、故鍛冶谷幹事長の告別式に参列(三月)。

呉支部

呉の街異聞 支部長 大原 重徳 (昭33高卒)

故郷「世羅」に人が集まるという話と同じように、我が呉にも最近観光客が増えている。その基となっているのは、世羅が花と果物であるのに対して、呉は「大和ミュージアム」である。戦後、造船で賑わった呉も、日本の産業界の重工業から軽工業への変換のありを受けて、街全体が沈滞気味であった。街の活性化への願いを込めて、ミュージアムは建設された。実は呉市は、遊園地建設で過去に失敗をしている。当局も市民も不安を抱いての建設開始だった。ところが、平成十七年四月開館をしてみれば、大好評であった。来場者は、一年間で約百七十万人ということである。

最近少し落ち着いてきたようであるが、当初は他県ナンバーの車や観光バスが何台も連なり、慌てて駐車場をつくったりした。今まで、待つことなどなかった昔からの食堂が、休みの日などは並んで待っている人がいたりする。

先日久しぶりに訪れてみると、壁板は貼り替えられていて、テーブルも新しくなっている。女主の言葉遣いも、少し丁寧になったような気がする。世羅はいかがであるのか。いずれにしても、世羅呉とも活性化することを願う。

本部だより

今年度の同窓会総会を八月十六日(日)、世羅町本郷「玉乃家」で開催しました。小島敏文会長・戸野法史校長の挨拶で開会し、十河東京校友会会長、釣井良明近畿同窓会副会長より祝辞を頂きました。

●総会議事

①平成二〇年度事業・決算報告及び監査報告(承認)

②平成二十一年度事業計画(承認)

③平成二十一年度予算案(承認)

④台湾風水害見舞いの件

●報告事項

同窓会報第十一号の発行について編集委員から今後の発行について問題提起がありました。発行を続けることになりました。

●懇親会

記念撮影の後、小島敏文同窓会会長の挨拶と、東京校友会副会長吉宮孝治様による乾杯の音頭により懇親会が始まりました。その後、参加者全員の自己紹介、各支部活動報告や学生時代の思い出、母校への思いや状況を話され、和やかな親睦会となりました。また、同

窓会総会への参加者をいかにして増やすかなど今後の課題についても話し合われました。(事務局 西原 求)

《編集後記》

節目に当たる第十号以後も、継続すべきかどうかの提起がある中で第十一号発行となりました。編集を終えた今、編集委員会からお願いがあります。

その一つは、寄稿者の紹介、推薦について、皆様のご協力を得たいことです。編集委員の知り及ぶ同窓生の範囲は極めて限られており、このことは寄稿者の地域的な偏りを生ずることになります。これを避けるためにも皆様の身近の心当たりの方を事務局(世羅高校内)までお知らせ下さい。

次に「同窓会会報」への皆様のご感想、ご意見等をお寄せ下さるようお願い致します。斬新な編集スタイルとするためのご意見、ご助言をお願い致します。

末尾ながら、同窓生及び地域の皆様のご健康ご多幸をお祈り致します。

《編集委員》

- 伊藤陽康(昭28卒)
- 石原正俊(昭28卒)
- 松島延江(昭28卒)
- 阿部玲子(昭29卒)
- 大田良晴(昭37卒)
- 林 光輝(平2卒)
- 西原 求(事務局)

LOTAS CLUB  
カーケア&タイヤショップ

有限会社 片山自動車工業

広島県三原市久井町江木76-1
TEL: (0847) 32-6605
E-mail: ktym@lotas-katayama.co.jp

 マルキチプロパンガス・管工事業
昭和シェル石油特約販売店・住宅機器
小型合併槽のことならおまかせください!

マルキチ株式会社

世羅郡世羅町西上原597番地

TEL22-1101(代)
FAX22-2568

